



2026年7月14日

各 位

会 社 名 株式会社ラクト・ジャパン
代 表 者 代表取締役 小 島 新
社長執行役員
(コード：3139 東証プライム市場)
問合せ先 IR 広報部長 石黒 裕子
(TEL. 03-6281-9752)

長期ビジョン「LACTO VISION 2032 Ver.2.0」策定のお知らせ

当社は、2032年11月期を最終年度とする長期ビジョン「LACTO VISION 2032」を更新し、「LACTO VISION 2032 Ver.2.0」を策定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 長期ビジョン「LACTO VISION 2032 Ver.2.0」策定の背景

当社グループは、2023年に長期ビジョン「LACTO VISION 2032」（以下、前長期ビジョンといいます）を掲げ、パーパス（ありたい姿）の実現や持続的な成長に向けた取組みを推進してまいりました。事業環境が大きく変化するなか、当社グループでは、ライフサイエンス事業部門の成長に加え、アジアにおける製造事業の拡大により事業基盤が着実に進化しています。これらの進展を受け、前長期ビジョンにおいて2032年の目標として掲げた連結経常利益60億円の計数目標は、現中期経営計画「NEXT-LJ 2028」の最終年度である2028年11月期での前倒し達成を目指しております。

このような状況を踏まえ、今般、新たな成長ステージを見据え、計数目標を更新するとともに、大切にしたい考え方を刷新し、長期ビジョン「LACTO VISION 2032 Ver.2.0」を策定いたしました。

2. 更新内容

(1) 計数目標

今回の更新に際し、事業活動のフィールドを「グローバル」と改めて定義し、国内・海外といった地域区分にとらわれることなく事業を展開していくこと、また事業方針も売上高や数量など規模の拡大に限定せず、資本効率や収益性を重視する方針へと転換していることを踏まえ、前長期ビジョンで掲げておりました3つの計数目標を「経常利益」に一本化することといたしました。

計数目標	LACTO VISION 2032	LACTO VISION 2032 Ver.2.0
連結経常利益	60 億円	75 億円
海外比率 (連結経常利益ベース)	40%	
乳製品取扱高 (グループ合計)	45 万トン	

(2) 大切にしたい考え方

当社グループは、長年培ってきた専門性とグローバルネットワークを強みに、乳とたんぱくを中核領域として独自の価値創造を推進してまいります。また、既存事業の深化に加え、海外展開の加速、製造事業の拡大、新たな市場・事業領域への挑戦を通じて、持続的な成長と企業価値向上を目指します。

LACTO VISION 2032	LACTO VISION 2032 Ver.2.0
乳製品専門商社から複合型食品企業へ	Be Unique 乳とたんぱくのリーディングカンパニーへ
乳製品取扱高日本一、そして世界一へ	Be Global 食の未来を切り拓く
ベストマッチングで需要を創造、 酪農・畜産産業発展への貢献	Be Loved, Be Lacto 笑顔と想いをつなぐ

■ **Be Unique 乳とたんぱくのリーディングカンパニーへ**

乳とたんぱくを原点に培った強みを深化させ、独自のソリューションと提案力を通じて新たな需要を創造し、業界をリードする存在を目指します。

■ **Be Global 食の未来を切り拓く**

世界を舞台に事業基盤を拡大するとともに、新たな市場・素材・ビジネスモデルへの挑戦を通じて成長機会を広げ、人々の豊かな未来と食の発展に貢献します。

■ **Be Loved, Be Lacto 笑顔と想いをつなぐ**

誠実な姿勢と人の力を原動力に、信頼を基盤とした共創を通じて、ともに成長し、笑顔が広がる未来を実現します。

※ 資料に記載されている数値予想等の将来に関する記述は、公表日現在において入手可能な情報及び一定の前提に基づいており、今後の事業環境の変化等、さまざまな要因により大きく変動する可能性があります。

以 上

長期ビジョン「LACTO VISION 2032 Ver.2.0」

株式会社ラクト・ジャパン

2026年7月



長期ビジョン「LACTO VISION 2032」策定以降、世界を取り巻く環境は大きく変化し、
サプライチェーンや市場ニーズに加え、企業に求められる使命や役割、
ステークホルダーからの期待も多様化の一途を辿っています。

このような環境変化の中、当社グループは事業基盤を強化し、新たな成長機会の創出を着実に進め、
「LACTO VISION 2032」で目標として掲げた連結経常利益60億円を、
中期経営計画「NEXT-LJ 2028」期間中に達成できる見通しです。

これまでの実績を土台とし、変化し続ける時代の期待に応え、持続的な成長を目指します。
これを実現するため、2032年11月期の連結経常利益目標を75億円へ引き上げ、
「LACTO VISION 2032 Ver.2.0」として長期ビジョンを刷新します。

Be Unique

乳とたんぱくのリーディングカンパニーへ

長期ビジョン

LACTO VISION 2032

Ver.2.0

2032年目標 連結経常利益

75億円

Be Global

食の未来を切り拓く

Be Loved, Be Lacto

笑顔と想いをつなぐ



----- ご注意事項 -----

- この資料は当社を理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- この資料を作成するに当たっては、正確性を期するため慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。
- この資料の中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- この資料に含まれる将来に関する記載内容は、本資料の作成時点現在において入手可能な情報および仮定に基づいており、実際の業績は、様々な要因により計画と異なる場合があります、今後予告無く予想数字等が変更される場合があります。
- この資料における情報の使用につきましては、各自の判断、責任においてご使用いただくことをご承知ください。
- 当社の許可なく本資料の全部または一部を複製、転写等により使用することを禁止いたします。